

4校の児童 田植え一斉に

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】伊勢市内の小学校4校の児童合わせて約200人



田植えを体験する児童ら

が5月中旬、市内の水田で田植えを体験した。児童らに食や農業の大切さについて知ってもらうのが目的だ。

伊勢市やJA伊勢の職員らの指導の下、児童らは一列に並び、目印をつけたひもに沿って丁寧に苗を植えた。田植え後には、児童から「植えた苗が大雨や台風で水に浸かってしまったらどうなるのか」などの質問があり、JA職員らが答えた。体験した児童は「泥に足を取られて難しかったけど、楽しかった。お米ができるのが楽しみ」と話した。JA職員は「体験を通じて食の大切さを学び、農業に関心を持ってもらうきっかけになればと思う」と話す。秋の収穫期には、鎌を使っての刈り取り体験をする予定だ。